

札幌平和行進NONO〜日本を平和にする〜

核兵器はいらない!

今年も平和行進が行われました！残念ながら今年規模を縮小し、札幌市内9か所での「スポット行動」(スタンディングと宣伝)と、札幌駅南口での「結集行動」という形で行われました。規模が縮小しても、核兵器を廃絶しようという思いは変わることはありません。核兵器禁止条約の批准国は6月4日現在、37か国です。条約に必要な50か国の批准まで、あと13か国です。しかし日本政府は、安全保障の観点から、米国の核抑止力の正当性を失うとして一向に批准しようとはしていません。

日本は唯一の被爆国です。実際に被爆された方を前にして、どうして核抑止力などと言えるのでしょうか。「政府がこう言っているから…」と思考停止に陥ることなく、想像力を働かせながら、どうすることが本当の平和につながるのか、考え続けることが大切です。



核兵器廃絶に向けて、自分ができることを少しずつ努力していきましょう。
手稲養護学校
細谷拓樹



なんと!あの
せやろがいおじさん

なつフェス

に沖縄からネット出演!
日時: 2020年7月25日(土)
11:00~12:30

お〜い!札幌支部のせんせいたち〜! 沖縄のきれいな海をバックに笑いを通して社会問題にもの申す! せやろがいおじさんや〜! なつフェスに出るので、楽しみにしといてや〜!



※視聴したい方は
kokyoso@dokokyoso.jp に
「なつフェス参加希望」とメールください。ID/パスワードを送付します。

Change.org 「学校の『3密』を解消してください ~20人以下で安心できる教室を~」

私たちは、教室を20人以下の少人数とし、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、教職員を増やし、教室を増やしたりするなど北海道や北海道教育委員会に求めるアクションを起こしました。趣旨に賛同していただける方は、ぜひ署名にご協力下さい。「20人以下学級北海道アクション」
<http://chng.it/G2rKP2NJMZ> ここから入ってください。
ツイッターアカウント
<https://twitter.com/school20action?s=06> #学校の3密を解消してください
SNSを活用している方は、ぜひ、拡散をお願いします。



2020年度闘争・平和カンパのお願い
毎年、この紙面を通じて、闘争・平和カンパのお願いをさせていただいています。コロナ禍を経験して、学校の教育条件・教職員の勤務条件の改善がますます重要であるとの認識が広がり、前進を掴み取るチャンスが広がっています。道高教組札幌支部は、引き続き、これらの課題前進のため奮闘いたしますのでご支援、ご協力をお願いいたします。

はばたき

授業時数確保最優先でなく 「学びの保障」を!

6月に入りようやく石狩管内の学校に子どもたちの声に戻ってきました。約50日間にわたった緊急事態宣言は全面的解除されましたが、北海道は新感染者数の解除目安を上回ったまま。政府諮問委員会から「状況的には厳しい」との指摘が出るなど、懸念を抱えたままの解除となりました。道教委は学校再開に向けた通知の中で、「石狩管内の学校においては、地域の感染状況等に応じて、6月以降も一定期間、時差通学や午前授業、分散登校を行い、円滑な学校教育活動が行われるよう、取組を進めてください」と示しましたが、ほぼ通常通り再開した高校もありました。その背景には、生徒たちの進路保障のために力を注がなければならぬとの使命感ととも、「授業時数確保」に縛り付け

られてきた高校現場の姿が見えてきます。
**現場の主体性をないが
つなぐための事務連絡**

道教委は、石狩学区の臨時休校が長期化する中で、文科省から「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動の実施における「学びの保障」の方向性について(通知)」を受けて事務連絡(5月19日付)を发出。「教科等の学習の遅れを補うことを最優先とし、当面の間は教科等の授業時間確保に努めること」と、生徒が密集して行う学校行事については9月末までの自粛を打ち出しました。この事務連絡は、何が何でも授業時数を確保せよと強調するとともに、例示によって、すべての高校で授業時間の回復、土曜授業や7時間授業の実施、長期休業削減が当たり前であ

「学びの保障」に必要なのは

文科省は5月15日付の通知で、「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業により、学校教育法施行規則に定める標準授業時数を踏まえて編成した教育課程の授業時数を下回ったことのみをもつて、学校教育法施行規則に反するものとはされないとされていることも踏まえて、児童生徒や教職員の負担軽減にも配慮すること」と、機械的な時数回復を戒めています。道教委も、「家庭学習との組み合わせや指導順序の変更などにより、学校の授業における学習活動の重点化を図り、今後新たに必要となる授業時数を明らかに

にしたうえで、長期休業期間等における登校日を設定する」としており、「新たに必要となる授業時数」とは、家庭学習との組み合わせなどで重点化された学習活動に必要な時数を指しており、決して臨時休校中の授業時数をすべて回復せよと言っているわけではありません。授業時数確保が先に立つのではなく、指導方法の一層の工夫改善等による学習活動の重点化をすすめることで、「学びの保障」のために必要な「年間指導計画の見直し」を求めているわけです。事務連絡にはこの部分がまったく欠落しています。授業時数確保が至上命令なのではなく、感染防止対策の徹底や子どもたちの学習する権利を保障するために必要な条件を整備することこそが大切です。

道高教組札幌支部は、長期休業中に登校日を設けることに全面的に反対しているわけではありませんが、分散登校での少人数学級指導の長期化、再度の臨時休校の可能性を視野に入れば、長期休業期間での登校日設定等を前提にした教育課程再編には大きなリスクがあると考えます。それぞれの学校の現状を踏まえた教育課程の弾力的運用、教務内規の特例的適用などが担保されるのが重要です。生徒たちや保護者の声を幅広く聞きとることも必要なのではないでしょうか。ウィズコロナの時代にふさわしい教育条件整備を行政に求めるとともに、職場の知恵や工夫を大切にしながら教職員の合意を積み重ねていくことが「安全・安心・安定した学校」再開への現実的で堅実な道筋であると考えます。

コロナ問題で困ったことがありましたら相談ください。

道高教組札幌支部は、長期休業中に登校日を設けることに全面的に反対しているわけではありませんが、分散登校での少人数学級指導の長期化、再度の臨時休校の可能性を視野に入れば、長期休業期間での登校日設定等を前提にした教育課程再編には大きなリスクがあると考えます。それぞれの学校の現状を踏まえた教育課程の弾力的運用、教務内規の特例的適用などが担保されるのが重要です。生徒たちや保護者の声を幅広く聞きとることも必要なのではないでしょうか。ウィズコロナの時代にふさわしい教育条件整備を行政に求めるとともに、職場の知恵や工夫を大切にしながら教職員の合意を積み重ねていくことが「安全・安心・安定した学校」再開への現実的で堅実な道筋であると考えます。

道高教組札幌支部は、長期休業中に登校日を設けることに全面的に反対しているわけではありませんが、分散登校での少人数学級指導の長期化、再度の臨時休校の可能性を視野に入れば、長期休業期間での登校日設定等を前提にした教育課程再編には大きなリスクがあると考えます。それぞれの学校の現状を踏まえた教育課程の弾力的運用、教務内規の特例的適用などが担保されるのが重要です。生徒たちや保護者の声を幅広く聞きとることも必要なのではないでしょうか。ウィズコロナの時代にふさわしい教育条件整備を行政に求めるとともに、職場の知恵や工夫を大切にしながら教職員の合意を積み重ねていくことが「安全・安心・安定した学校」再開への現実的で堅実な道筋であると考えます。

道高教組札幌支部は、長期休業中に登校日を設けることに全面的に反対しているわけではありませんが、分散登校での少人数学級指導の長期化、再度の臨時休校の可能性を視野に入れば、長期休業期間での登校日設定等を前提にした教育課程再編には大きなリスクがあると考えます。それぞれの学校の現状を踏まえた教育課程の弾力的運用、教務内規の特例的適用などが担保されるのが重要です。生徒たちや保護者の声を幅広く聞きとることも必要なのではないでしょうか。ウィズコロナの時代にふさわしい教育条件整備を行政に求めるとともに、職場の知恵や工夫を大切にしながら教職員の合意を積み重ねていくことが「安全・安心・安定した学校」再開への現実的で堅実な道筋であると考えます。